

小野寺 彩
ONODERA Hikari



For the very lake

ポリエステル・ニードルフェルティング



For the very lake

わたに針を刺していく

さくさくと音をたてながら、針に繊維が絡まって、
密度を小さくあげていくそっと膨らむ そのわたに、
私は何度も針を刺す

頬を透く

遠く渴いた場所にきた

冷えてゆく湖に、縮んでゆく身体、輪郭を透き通す
ように、耳をすます

そこにいる

小さくふれてかわされる湖面がゆれる

光がふれる

瞼がゆれて、ふれている